

谷藤EYE通信

No,46・47
2013年
(平成25年)



清水川 (しずがわ) と鯉のぼり
龍泉洞から湧出する清流の5月

院長撮影

院長 谷藤泰寛

平成 25 年度を迎えました。三陸沿岸の被災地では高台への住宅移転建築が徐徐にはありますが始まったように報じられています。現地県立病院の本格建築と稼働は 4～5 年先になる様子で、それまでは眼科医会が日曜診療を行っている陸前高田の県医師会立の仮設診療所も存続する予定です。世間は安倍政権のアベノミクスによって、円安株高の傾向が定着し、大手の自動車メーカーは大きな恩恵を受けている訳ですが、その恩恵が中小企業や地方へ波及するのは大いに疑問です。

岩手県の人口が 4 月現在 130 万人を 46 年ぶりに下回ったと報じられています。少子高齢化が北東北 3 県などでは今後一層顕著になるようとしています。このような状況の中でも、眼科医療の果たす役割は決して低下するものではありません。高齢人口の増加は加齢に伴う眼疾患の増加をも意味し、それに対応した眼科医療を必要とします。白内障、緑内障に加えて最近増加している加齢黄斑変性へ新治療薬の応用など、増大する医療費の削減のためにも、その第一は疾病の予防、早期発見であり、そのための公的検診制度の創設が望まれます。眼科検診によって失明率が緑内障では 50%、眼疾患全体では 25% 減少するといわれています。健康で自立した生活を送れるように眼科医が果たすべき多くの役割があるものと思われれます。

岩手県は多くの過疎地をかかえ、十分な眼科医療を現地で受けられない患者さんが多く、眼科医会でも年に 1～2 度の医療相談などを行っていますが、勿論十分なものではありません。在宅医療の推進充実が現在の医療政策の大きな目標であり、今後は眼科医も診療所や病院で患者さんをまつばかりでなく、往診も含めて在宅での目の健康管理と治療などに積極的に関わるようにすべきという目的に向かって、日本眼科医会も活動をはじめたところです。皆様の積極的な御提案やお知恵を頂いてこの試みが一步でも前進することを願っています。

副院長 谷藤典子

平成 25 年 5 月 8 日から 4 日間、ベトナムへ服部先生を訪ねてボランティア活動に参加してきました。7 回目となる今回は「カントー」というところに行きました。カントーはメコンデルタ地帯にあるベトナム最南端の町で、ハノイから飛行機で 2 時間、空港から車で 2 時間半の所にあります。気温は 32℃ で熱帯モンスーン気候帯に属し、訪問した 5 月は雨期でしたが 1 日に 1~2 回スコールがあり、ずっと曇りで湿度は高かったです。ベトナムのお米の 50% 以上を作っている農作地帯で水田が沢山ありました。またマンゴー、ジャックフルーツ、ドリアンといった果物の宝庫でもあります。デルタ地帯の中にある街らしく水上生活者や水上市場があります。

カントーの病院では 3 日間で 186 人の手術をしました。紫外線の影響なのか、若いのに白内障が進行している患者さんが多かったです。初日はどうなることかと思いましたが、地元のドクター、スタッフの協力で何とか無事に終わることが出来ました。日本からは私の他に看護師 1 名のボランティアが参加してくれました。

毎回のことですが、ベトナムではよく停電があります。電力不足で計画停電を行うのです。病院のスタッフが事前に電力事務所に連絡していたにも関わらず停電してしまい、電話して解除してもらいました。待つこと 30 分、その間手術途中の患者さんはベッドの上でじっと待っています。クーラーも切れるので大変です。

食事は暑いのに意外にも毎食鍋でした。魚介が入ったスープに様々な草？が入ります。藜たで)と芋のツル、バナナの茎等です。ベトナムの人はいろいろな野草をよく食べ



メコン川水上の町並み



手術後の診察



ます。山菜が年中ある感覚かもしれません。

今回の参加で私自身体力の衰えを感じました。体力増進に努めようと思ったと同時に、服部先生の体力は並々ならぬ物があると実感しました。ベトナムでのボランティア活動は段取りから考えると、気が遠くなるほど大変です。継続して続けられている服部先生のモチベーションは素晴らしいです。どこからその力が湧いてくるのか現在探っているところです。



ジャックフルーツ

看護師として

看護師 上村 由美子

平成 22 年に准看護師として谷藤眼科に就職し、看護師になるため高等看護学校へ進学しました。初めは仕事と学業の両立はとても大変で、仕事を覚えることが沢山あり、毎日が必死でした。落ち込むこともありましたが、患者さんの笑顔、職員の方々の言葉に励まされ今日まで頑張ることができ、今年の 3 月に看護学校を卒業することができました。

2 月に看護師国家試験があり、試験前には気にかけてくださる患者さんもおりととても心強く感じ、職場では勉強しやすい環境を整えてもらったり、多くの方々の支えの中無事合格することができ心より感謝しております。

4 月より看護師として勤務できることとなり、私自身嬉しく思っています。まだまだ未熟者ですが、学校での学びを基に一日でも早く仕事を覚え、患者さんに安心して医療を受けてもらえるように、日々精進していきたいと思ひます。

そして、今までは午前勤務が多く、お会いできなかった患者さんもいらっしゃるのひ、早くお名前とお顔を覚えていきたいと思ひます。

明るく笑顔をお忘れずに頑張りますので、皆さんこれからもよろしくお願ひします。



No.46・47：平成25年（2013年）4月～9月号

 医療法人泰明会 **谷藤眼科医院**

〒020-0127 岩手県盛岡市前九年2丁目2-38

TEL：019(646)2227 FAX：019(645)3811